



育G新聞編集部 編集協力：
NPO法人 フザーリング・ジャパン
NPO法人 孫育て・ニッポン

育G インフォメーション

イクジイ・スクール 第2期

【日 時】6/6(木)・6/20(木)
全5回 隔週木曜日 18:30~20:30

【受講料】全5回：10,500円(税込) ※単科受講も可
過去3回実施済み

【場 所】東京都文京区・日火江戸川橋ビル会議室

【対 象】子育て、孫育て、社会貢献に関心のある
男性(孫がいなくても受講可)

【内 容】② 6/6(木)
中高年男性のこれからライフキャリア、
創続のすすめ

③ 6/20(木)
子どもとの関わり方と社会的保育の現状
※保育園にて体験保育自習あり

【主 催】特定非営利活動法人フザーリング・ジャパン

【電 話】03-6902-1694

【詳 細・お申し込み】
<http://www.fathering.jp/ikuji/school>

★育G登見★

No.15
シンガーソングライター
谷村 新司さん special



◀ 実孫と。終演後の楽屋にて。

アリスのメンバーであり、2歳のお孫さんのじいじでもある谷村新司さん。ご家庭でのお孫さんとの関わり、「ココロの学校」、アリスの今年の活動についてお話を伺いました。

——お孫さんとはどんな関わりをしていますか？

孫が生まれた時、言葉では説明できない、実際に孫ができる人でないとわからない、不思議な幸せ感がありましたね。同じ建物のフロア違いに住んでるので、食事も一緒にしますし、お風呂も入れたりしています。孫が赤ちゃんの頃からよく歌ってました。今も歌ってますけど、抱っこして歌うと胸が響くんです。そうすると聞いている方も共鳴する。だからずっと何かを歌っていました、耳元で。

最近孫はアリスの新しいアルバム「アリスXI」の1曲目「It's a time」を口ずさむんです。けっこう難しい音階なんですが。会う度に「歌って」とリクエストすると time time time と歌ってくれます。微妙な音階を聞き分けるんだなあとビックリしました。孫が歌を楽しそうに歌っている姿を見て、音が持つてい

る役割って人間にとて大きいんだなと再認識しました。

——移動キャラバン「ココロの学校」とは？

「ココロの学校」は、「音」と「歌」を通して「学び」のココロを伝える移動学校です。開催地はメジャー・アーティストが滅多に行かない小さな町、公民館など、2007年からスタートし現在400カ所ほどまわりました。

この活動のきっかけは、上海音楽学院での授業です。2003年に教授として招かれ、中国の学生が僕に何を求め、何を勉強したいのか考える中で、僕自身が知らないことが一杯あることに気づいたんです。例えば、「ニッポン」と「にほん」はどっちなんだろうとか。

「音」には、すべて理由がある。学校では教えてくれない「音」のヒミツの授業。中国でこの授業を聞いた人から、日本の子供たちや悩めるお父さんやお母さん達にも聞

かせてほしいと言われスタッフと考え、カルチャープログラムとしてスタートしました。

「ココロの学校」は、地元の子どもたちが歌いたい歌を歌い、そこに僕や「ココロの先生(ココロの学校に共感してくれるアーティスト)」が入り、一緒に創りあげていきます。歌が介在すると、いつも簡単にいろいろなものがつながっていく。音と歌に包まれていると、忘れかけていることが甦る。ステージの子どもたちはもちろん、観客席で仮頂面していた男性も、帰るときにはみんな笑顔になるんです。

お孫さんと関わるのが苦手なじいじにも、歌はおすすめですね。歌も苦手だったら、声に出す、話すといいですね、



▲「ココロの学校」の一コマ

声も音ですから。

—アリスコンサートツアー 2013 ～ It's a Time ～で全国 47 都道府県 をまわられますね

2009年のコンサートツアーの後、「自分たちがまだ元気で動き回れるうちに、もう1回やりたいね」とメンバー3人ともが思ったんですね。今、アルバムを作るのは難しいと言われている時代ですが、あえて、今の言葉で新曲を書き下ろし、新しいオリジナルアルバムを作り、アリス初期の頃と同じように、僕らがあたりまえのようにでかけていく。この形が自分たちのスタイル。コンサートでは、新しい歌はもちろん、みんなが聞きたいという歌も全部聞けるステージを予定しています。

今回のコンサートツアーのタイトル「It's a time」。「It's a time」と聞いて、気づく人は気づくと思うんです。「明日」とか、「また今度ね」ではなく、「今がその時」だと。今この瞬間に心を込めていないと絶対に後悔する。僕はそう思っているので、僕にとっても「It's a time」なんですよ。コンサートに来て下さる皆さんにとっても「It's a time」。今を一番悔いのないように、充実して過ごす。それが続いていけば、明日につながる……。

—同世代の方に一言お願いします 会社などの仕組みの中に自分を閉じ込



めて生きる道を選ばれた人は、ストレスも多いと思います。僕はたまたまそういう道をいかなかったので、いろいろな道に気づくことができました。「It's a time」を感じた人たちは動き始めていますね。遅いということはないです。自分の価値観を絶対だと思わず、自分とは違う価値観の人と触れあい、話を聞いてみてください。聞いているうちになるほどねって、自分の心が喜べる瞬間がきっとあるはずです。心の扉が開いている方が 100倍も人生は楽しいですよ。心の扉を開く一番早い方法は「音」なんですね。

♪ アリスコンサートツアー 2013
～ It's a Time ～
公演スケジュールは、下記をご覧下さい。
tanimura.com/alice_sch2013

育G LIFE

育G stylist G・ハヤシがアドバイス
「〇〇の達人Gになろう！」

楽しい育Gライフを送るためにには、孫や周囲の子どもたちから一目置かれる存在になることも大事。それには、自分の得意なことで「〇〇の達人」になるのが近道です。

たとえば、「コマまわしの達人」とか「ギターの達人」「バーベキューの達人」や「ゲームの達人」、仕事で得たスキルを使って「パソコンの達人」や「おもちゃ修理の達人」だっていいんです。別にすごいワザが必要なわけではなく、子どもたちと同じ目線で自分の得意なことに向き合うのがコツ。ジイの実力に子どもたちの目も輝きます。

孫の宿題を暗算で解きまくり、超リスペクトを得た「暗算の達人」なんていうジイもいますよ！

